

種別	行 事 名	開始年度	令和4年度実施状況	場 所	事 業 概 要	学生等参加者	三重大担当部局・担当者	博物館担当職員	
研究・事業連携									
研究1	ウミガメ類の研究	平成27年度		三重県総合博物館・県内海岸各地	伊勢湾・熊野灘に漂着したウミガメ類の研究(標本収集、解剖、X線撮影、骨格標本作成、標本保存)		生物資源学部サークル「かめっぶり」	吉岡 基	北村・田村
研究2	クジラ類の研究	平成27年度		三重県総合博物館・県内海岸各地	伊勢湾・熊野灘に漂着したクジラ類の研究(標本収集、解剖、X線撮影、骨格標本作成、標本保存) ※平成30年度からは伊勢・三河湾ストランディングネットワークとしての活動も含む。		生物資源学研究科 生物資源学部サークル「かめっぶり」	吉岡 基	北村・田村・稲垣
研究3	花粉媒介の昆虫類に関する研究	平成30年度			チシマイワブキ属の3種について花粉媒介を行う昆虫類を関係について研究する。日本生態学会で報告あり(2019)。		全学共通教育センター	福田知子	大島
研究4	生物の多様性解明に向けた地域自然史情報の活用と分類学的研究	令和3年度		三重県総合博物館	三重大学施設等での調査で得られた研究の証拠資料を標本化し、レファレンスコレクションとして管理するほか、地域資料情報としての活用を目指す。また生物多様性解明にかかわる昆虫類の分類学的な研究を進める。		生物資源学研究科	塚田森生	大島
研究5	三重大学平倉演習林で調査された昆虫資料の標本作製・整理および昆虫相の変化に関する研究	平成30年度		三重県総合博物館および県内各所	博物館に標本化されていない状態で保管されている莫大な昆虫資料(とくに三重大学平倉演習林)を活用できるようにするため、三重大学学生や県民と標本を作製して整理し、現在の調査と比較することで、自然環境の変遷を調査する。 福田知子・大島康宏・森田奈菜(2022)三重大学地域貢献活動支援による昆虫整理プロジェクトの成果-生物多様性教育の一環としての標本作製体験提供-, 三重大学高等教育研究(受理済み)		全学共通教育センター 生物資源学研究科 教育学部	福田知子・塚田森生・平山大輔	大島・森田
研究6	コイ科タナゴ亜科魚類の遊泳能力の研究	平成30年度	5月25日、1月30日	三重大学・全国	日本産コイ科タナゴ亜科魚類各種の遊泳能力の比較。山田穂高@H30卒業研究の発展形で恒松祐輔@R4卒業研究。三重大学から実験計画の発案および実験に使用するタナゴ類(絶滅 危惧種:山形県のキタノアカヒレタビラと松阪市のイチモンジタナゴの提供)の提供	1	生物資源学研究科	森川由隆	北村
研究7	三重県希少野生動植物種ウシモツゴの調査・保全活動	平成30年度	7月22日、8月30日、9月27日	伊勢市のため池	淡水魚であるウシモツゴの生息個体数や成長、個体群構造の調査や外来種のザリガニの駆除を実施している。	3	生物資源学研究科	河村功一	北村
研究8	コイ科タナゴ亜科魚類の系統進化の研究	令和3年度	サンプル提供	全国	日本産コイ科タナゴ亜科魚類各種の遺伝子分析用サンプル収集	0	生物資源学研究科	河村功一	北村
研究9	タナゴ亜科魚類の種多様化の維持・生成機構の解明・博物館の展示資料等における展示標本作製技術開発や展示手法の開発及びその評価手法の開発	令和2年度		三重大学	大学院生物資源学研究科リサーチフェローとして博物館の学芸員を受入れ、研究活動を行う。		生物資源学研究科	木村妙子	北村
教育1	三重ジュニアドクター育成塾	平成30年度			県内の小中学生を対象にした科学人材育成プログラム。博物館が連携機関として参画		教育学部	平山大輔	
展示制作1	第31回企画展「集まれ！三重のクジラとイルカたち」の展示制作	令和3年度	R4年度終了	三重県総合博物館	第31回企画展「集まれ！三重のクジラとイルカたち」の展示制作協力(展示計画・図録製作・写真の撮影・執筆・資料借用など)、教員による講演、インターンシップ生による関連イベント企画運営		生物資源学研究科 工学研究科	吉岡 基・森阪匡通・船坂徳子・山本知里・神田育子・有蘭幸子 大井 隆弘	北村・田村・門口・福田・稲垣
委員1	三重県総合博物館協議会委員	令和4年度	7月12日、3月7日	三重県総合博物館	館長の諮問機関として、博物館の運営等について助言を行う。	—	生物資源学研究科		福田
講義・実習等									
講義実習等1	教育実地研究基礎		11月2日・11月の土日	三重県総合博物館	1年次対象。受講生が来館者対応の補助を体験、子どもとの接し方などへの考察を深める。	17	教育学部	藤田達生	太田
講義実習等2	教養教育・教養統合科目・現代科学理解「生物学 多様性の生物学」		5月9日・18日・20日	三重大学(ハイブリッド講義)	生物多様性にかかわる地域博物館の役割と地域情報について、大島学芸員が講義(ゲストスピーカー)を担当	18	全学共通教育センター	福田知子	大島
講義実習等3	教養教育・教養統合科目・地域理解・日本理解「日本理解特殊講義 三重の歴史と文化」		5月18日	三重大学	歴史学から見る三重の「食」について、太田学芸員が講義(ゲストスピーカー)を担当	66	キャリアセンター	志垣智子	太田
講義実習等4	教養教育・教養統合科目・地域理解・日本理解「三重学 食と観光実践」		10月2日	三重県総合博物館	歴史学から見る三重の「食」について、太田学芸員が講義(ゲストスピーカー)を担当。事前学習回(10/2)を博物館で実施	27	キャリアセンター	志垣智子	太田
講義実習等5	博物館概論		4月19日	三重県総合博物館	受講者による見学会	41	教育学部	岡野智子*	北村
講義実習等6	生物資源活動タイム		6月15日	三重県総合博物館	北村淳一学芸員による挨拶後、常設展見学	41	生物資源学研究科	森阪匡通 木村妙子	北村
講義実習等7	フィールド地質学		10月23日	三重県総合博物館	共生環境学科・農業土木学教育コース向けの集中講義「フィールド地質学」の一部を博物館で実施 https://www.bio.mie-u.ac.jp/cate/happenings/post-434.html	22	生物資源学研究科	岡島賢治 森 康則*	津村
講義実習等8	野外実習		11月26日	三重県総合博物館	学部2年次対象。博物館敷地内のミュージアムフィールド「観察の林」において、植物の観察、樹木の計測などを中心とした生態学実習を実施。実習内において森田学芸員による講話	16	教育学部	平山大輔	森田